

1. 単元名 夏休みに向けて

2. 本時の概要

本時は、夏休みという長期休暇を前に、生徒が自らの学びを客観的に捉え、自律的に探究活動を進めるための基盤をつくることを目的とする。主要な柱の一つは、夏休みの課題である「図書館を使った調べる学習コンクール」に向けた準備である。個人探究においては、自ら問いを立て、情報を収集・分析する「学びのサイクル」を回すことが不可欠である。本時では、9月の提出に向けたスケジュールを明示し、レポートの構成や引用方法に関する参考資料を提示することで、生徒が夏休み中に迷いなく探究を深められるよう動機付けを行う。中学1年生のこの時期に、振り返りの意義を理解し、具体的な探究の手法と見通しを確認することは、生涯にわたって学び続ける学習者としての姿勢を養う上で極めて重要である。

3. 本時の目標

- **LIFEログの意義と方法の理解:**「LIFEログ」の意義とループリック(レベル3)を理解し、日々の体験から自己の成長や課題を言語化する「成長に繋がる振り返り」を記述できるようになる。
- **夏休み期間の見通しを立てる:**夏休みのレポート作成に関する工程と提出期限を確認し、提示された参考資料を活用しながら、計画的に個人探究を遂行しようとする見通しを持つ。

4. 本時の準備・使用教材・参考文献

- 教員用提示資料:
 - 授業スライド 第12回
- 使用教材(副教材):
 - 岡本尚也(2024)『ゼロから始める探究活動 課題研究メソッド ZERO』新興出版社啓林館

5. 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
【1時限目】		
1分	本時の内容の把握 ・本時の流れ(LIFEログ、今後の予定、参考資料)を確認する。 ・これから行う活動が、夏休みの探究活動にどう直結するかを見通す。	・授業の全体像を簡潔に示し、見通しを持たせる。 ・夏休み前の重要なステップであることを強調する。
4分	LIFEログの意義と書き方の理解 ・学びのサイクルとループリックを確認し、レベル3(変化と次への繋がり)を目指す重要性を理解する。	・「今日の振り返りが、明日の自分をつくる」という核心的なメッセージを伝える。 ・レベル3の具体例を提示し、単なる感想文にならないよう促す。
10分	LIFEログの記入実習 ・情報端末を用いて、今週の「教科学習」「探究」「学校行事・部活等」の3項目について記入する。 ・内容を一言で表す適切なタイトルを付与する。	・ループリックを意識して書けているか机間指導で確認する。 ・タイトルの付け方に迷っている生徒には、学びの核心を突く言葉選びを助言する。
5分	今後のスケジュールの確認・レポートの校内締切(9/1)と印刷提出日(9/15)を確認する。 ・9/8に表紙作成を行うなど、夏休み明けの具体的な流れを把握する。	・9/1時点では印刷せず、タイトル等のみ記入した状態で提出することを徹底させる。 ・期限の遵守
5分	参考資料の活用方法の確認 ・Classroomに配信されている「探究ノートについて」「作品について」の資料を確認する。 ・特に「作品」における構成や引用方法、著作権上の注意点を把握する。	・探究が停滞した際にスライドの該当箇所を参照するよう具体的に指示する。 ・引用のルールは重要であるため、必ず確認するよう念押しする。
25分	探究活動の実施(前半) ・各自のテーマに沿ってレポート作成や情報収集を進める。 ・探究ノートの「日々の記録」欄に、本日の進捗や気づきを記入する。	・各担当教員は机間指導を行い、テーマの絞り込みや調査方法に悩む生徒を個別に支援する。 ・順調に進んでいる生徒には、さらに問いを深める問いかけを行う。
【2時限目】		
50分	探究活動の実施(後半)	・長時間の活動になるため、適宜進捗を確認し、集中力が切れないよう声掛けを行う。

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
	・前半に引き続き、集中して個人の探究活動に取り組む。 ・夏休み中に自宅で行うべき具体的な作業（実験、インタビュー、資料購読等）を明確にする。	・最後に、夏休み中の活動の心構えについて全体に話し、授業を締めくくる。
